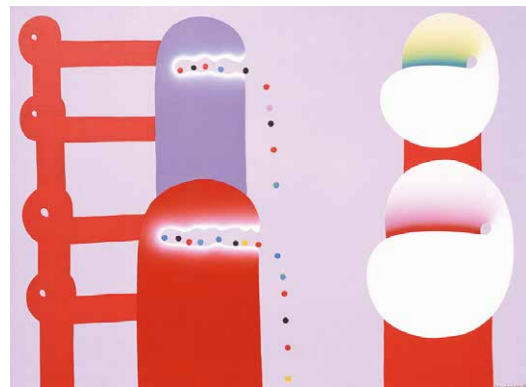




液体・赤 (1955年)



べにべにむらさき (1984年)

## 生誕100年 元永定正展

一寸さきは光～伊賀が生んだ美術の滑稽～

【と き】 10月1日(土)～31日(月)  
午前9時～午後4時30分 (火曜日定休)

【と ころ】 国史跡旧崇広堂

【料 金】 500円 ※高校生以下無料

### ○関連事業○

#### ◆中辻悦子展「中辻悦子と元永悦子 私は悦子」

【と き】 10月1日(土)～31日(月)  
午前9時～午後4時30分 (火曜日定休)

【と ころ】 赤井家住宅

#### ◆元永紅子展—朱ト赤ト紅カラ生マレタ女ノ子—

【と き】 10月1日(土)～31日(月)  
午前9時～午後4時30分 (火曜日定休)

【と ころ】 入交家住宅

※中辻悦子さんは元永定正さんの妻、元永紅子さんは長女です。

#### ◆くれない忌 ※事前申込制

対談 北川フラム×岡本栄「元永定正の●▲■」

【と き】 10月3日(月) 午後4時30分～6時

【と ころ】 伊賀市文化会館

【出 演】 ○アートディレクター 北川 フラムさん

○伊賀市長 岡本 栄

同時開催：山下洋輔 PIANO CONCERT

午後6時45分～



伊賀が生んだ  
美術の滑稽  
画家 元永定正  
生誕100年

「具体美術協会」(GUTAI)に参加し、赤や緑黄色などの原色の絵具を流して画面を構成した、力強い生命感あふれる絵画を精力的に発表しました。また、煙を使ったパフォーマンスや、自然の石を用いたオブジェ風の彫刻などユニークな創作活動を行い、協会を代表する作家の一人として認められるようになりました。

また、独特の造形感覚が強く現れた版画や陶製オブジェの制作、椅子やタペストリーのデザイン、絵本の出版も行うなど、幅広い創作活動を続けました。

こうした多彩な活動は、1983年の日本芸術大賞受賞など国内だけでなく、海外でも高い評価を得て、逝去から11年経った現在でもその評価は増しています。

何気ない日常的な視点を通じて、新たな美にたどり着くことをめざした作品は、ユーモアの中にも深い詩情をたたえています。

元永さんは、自然豊かで、城下町のまち並みと歴史・文化が薫る伊賀の地を愛しました。そして市内のアトリエで多くの作品を生み出しました。

今年元永定正さん生誕100年の年です。それを記念して元永定正展を開催します。書家・榊莫山さんとのコラボレーション作品や伊賀上野城を描いた作品など伊賀にゆかりのある作品も展示します。この機会にぜひ、元永定正作品の魅力に触れてください。

元永定正さんは、1922年、旧阿山郡上野町(現・伊賀市)に生まれました。上野商業学校(現上野白鳳高校)卒業後は漫画家を志しましたが、古里で洋画家、濱邊萬吉さんと出会い、裸婦や風景などの具象画を描くようになりました。1952年、30歳の時に神戸市に移り、当時、芦屋市展に出品されていた抽象画を見て刺激を受け、六甲山の夜景から想を得た抽象作品などの制作を始めました。

1955年、吉原治良さんが主宰する



【問い合わせ】文化振興課  
TEL 0997-22-0907 FAX 22-0919  
E-mail bunka@city.iga.lg.jp

